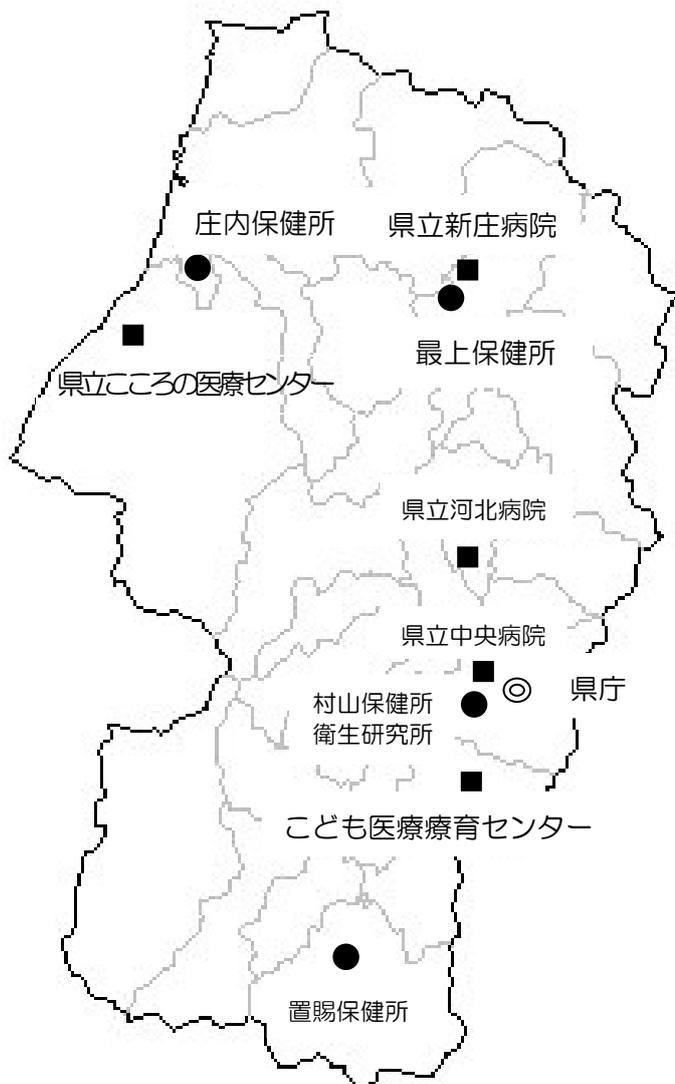


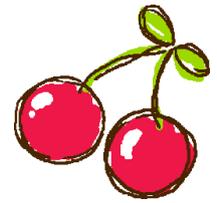
山形県職員として 活躍してみませんか？



< 薬剤師職員の職場 >

- ◎ 県庁
- 保健所
- 衛生研究所
- 県立病院





薬剤師として県に入って何をやるの？県立病院ならわかるけど、保健所で何をやるの？と疑問をお持ちの方もいらっしゃると思います。

県職員薬剤師としての仕事は、幅広い分野で県民の安全で健康な生活を確保する仕事で、職場は、大きく分けて病院職場と行政職場があります。

病院職場では、県立病院で調剤や患者さんへの薬剤指導業務を行います。

行政職場では、県庁や保健所等で、医薬品・食品等の製造・販売業者や飲食店等の許認可と監視業務等を行います。また、医薬品や食品、環境物質等の分析や試験研究業務を行う試験研究機関もあります。

山形県職員として活躍している薬剤師は、103名（H30年4月現在）。私達と一緒に県職員として仕事をしてみませんか。



先輩職員からの声(行政編)



H29採用 置賜総合支庁
畠田野 洋介さん

私は現在、薬剤師として食品衛生業務を担当しています。

[食の安全を守るために]

「薬剤師が食品衛生？」と意外に思われるかもしれませんが、実は日本の食品衛生行政は薬剤師と獣医師がその多くを担っています。

主な業務内容としては、飲食店や食品工場等に立入検査や衛生指導を行い、また講習会を通して、食中毒等の防止のために食品衛生全般の知識の指導も行っています。

啓発活動にも力を注いでおり、最近では、毒キノコの見分け方(ツキヨタケ、クサウラベニタケ等)を話した際に、関心を持って聞いてくれたことに、食の安全を守っていることを改めて実感しました。

私の所属する生活衛生課では、獣医師、保健師、行政職員など様々な職種の職員が力を合わせ業務に当たっています。他業種の方と仕事をすることで、幅広い知識を身につけることができ、日々成長している自分を感じます。

[受験者へのメッセージ]

食品衛生は多種多様な仕事内容や指導方法があり、とても奥が深く噛めば噛むほど味が出るスルメのような仕事です。

多くの現場を体験することで自分に自信がつき、知識を活かして指導することで達成感や充実感も得ることができます。

また食品事業者、消費者等広く県民と話す機会が多いので、人と関わるのが好きな方は向いている仕事だと思います。

ぜひ県職員になって一緒に働いてみませんか！



先輩職員からの声(行政編)



H29採用 山形県庁
塩谷 和幸さん

私は現在、山形県庁の健康福祉企画課薬務・感染症対策室で、主に薬事監視指導業務を担当しています。

【薬事監視指導業務】

医薬品の安全性と有効性を確保するためには、その品質が一定に保たれている必要がありますが、医薬品製造所においては、最終製品の全てについて、品質試験を実施できるわけではありません。したがって、最終製品だけではなく製造工程についても、均質な医薬品を製造できる状態であることを確認する必要があります。

本業務では製造所に立入調査を行い、構造設備や製造管理・品質管理の手法等について、法令等で定める基準に適合していることを確認し、必要があれば助言を行います。患者さんが安心して医薬品を使用できるよう、その品質確保の一端を担う重要な業務です。

【受験者へのメッセージ】

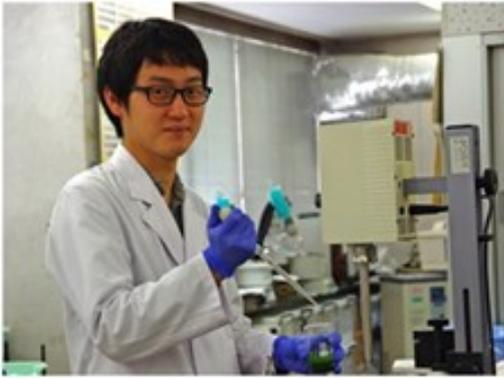
医療技術の高度化、医薬分業の進展等に伴い、高い資質を持つ薬剤師養成のため、薬学教育は6年制になりました。臨床の現場で活躍するための高度な知識、技術を習得した薬剤師が毎年輩出されています。

翻って地方公務員薬剤師の現状は、公立病院が独立行政法人化等により減少していることから、病院薬剤師として従事できる機会が失われつつあると考えています。

一方、山形県職員薬剤師は、約半数が県立病院において、残りの約半数が行政職場や試験研究機関において勤務しています。県民の安全・安心な生活を確保するため、薬学に特化して様々な職場で活躍できるのが山形県職員薬剤師の特徴です。

人事異動により新しい業務に携わると、わからないことが多くありますが、上司や先輩職員のサポートが厚く、それぞれの職場に応じた専門的スキルを磨き、最終的には自分に適した職場を選択していける環境が整っています。

先輩職員からの声（行政編）



H27採用 衛生研究所
石田 恵崇さん

衛生研究所では、県民の皆さんの安全・安心な生活と健康を支えるべく、日々行政検査や研究活動を行っています。得られた研究成果は学会等で発表しており、優秀発表賞を受賞するなど、高い評価を受けています。

【検査】

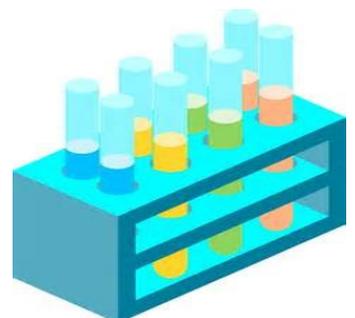
私が所属する衛生研究所理化学部では、野菜や果物などの農産物に残留する農薬の検査や、魚介類や食肉などの畜水産物に残留する動物用医薬品等の検査を行っています。また、大気や水などの環境試料や、野菜や果実、飲料水などの食品に含まれる放射性物質の測定を行っています。

【研究】

山形県は豊かな自然に恵まれていることから、山菜やキノコなどの山の幸と馴染みの深い食文化があります。それに伴い有毒植物や毒キノコによる食中毒の発生件数が全国トップクラスであり、早急に対策の必要な課題と考えています。当所では、トリカブトやツキヨタケ等、自然毒の分析法を確立しており、食中毒発生時に科学的な原因究明ができるよう検査体制を整えています。また、これらの食中毒を未然に防ぐため、得られた研究成果を元にパンフレットなどを作成、配布し、県民の皆さんに注意を呼び掛けています。

【受験者へのメッセージ】

学生の皆さんは、薬剤師は医療機関で働くというイメージが強いかもしれませんが、公務員薬剤師は、病院のほか、食品衛生や医薬事行政、検査など様々な分野で活躍することができます。大学で学んだあらゆる知識を生かし、多様な経験を積むことができる点が、公務員薬剤師のやりがいであり魅力です。また、出産、育児、介護など仕事と家庭を両立するための各種制度が整備されており、安心して働くことができます。私たちと一緒に山形県で公務員薬剤師として働きませんか。



先輩職員からの声(病院編)



H28採用 中央病院
後藤 真吾さん

【病棟業務】

県立中央病院は県立がん・生活習慣病センターおよび県立救命救急センターを併設した総合医療センター

的病院です。私は現在抗がん剤調製、病棟業務、薬剤管理指導業務を担当しています。病棟業務では主に持参薬の鑑別、服薬指導を行っています。今年から持参薬の確認方法が変わり、薬剤師がベッドサイドまで赴き直接患者さんから用法用量や、中止薬の確認、副作用歴などを確認できるようになりました。

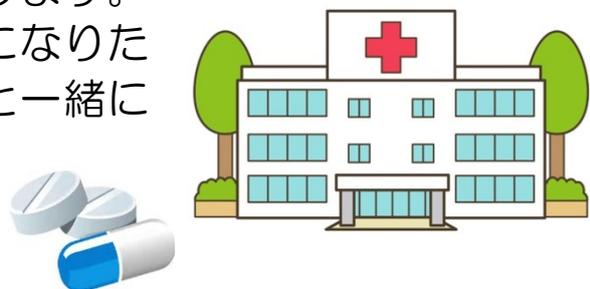
病棟を担当することによって持参薬の確認や、服薬指導など患者さんと接する機会が多くなり、薬を扱う対物業務だけではなく対人業務へと活動の場が広がりました。薬物療法について患者さんと一緒に考え、治療の向上につながればと日々業務を行っております。

【受験者へのメッセージ】

県職員薬剤師は病院はもちろん行政、研究と幅広い職場でその役割を発揮することができます。その際の異動ではキャリアを失うことなく多様な職場を経験することができます。様々な職場を体験することによって自分に合った薬剤師の働き方が見つかるのも県職員薬剤師の魅力の一つだと思います。

1年目には研修や交流会などで県の機関で働く方たちと話し合う事も多く、相談しあえる仲間と出会えたり、他の職場のお話を聴いたり見聞を広める機会も多いです。

私は薬物療法によって県民の健康を支えたいと思い県職員薬剤師を目指しました。薬剤師が県職員として力を発揮できる職場は病院だけではなく他にもたくさんあります。山形県の発展のため少しでも力になりたいと思っている方、ぜひ私たちと一緒に働いてみませんか。



先輩職員からの声(病院編)



H28採用 新庄病院
樋口 安耶さん

【チーム医療の中での薬剤師の役割】

近年、医療現場では患者さんへ最善の治療を提供するため、医師や看護師に加え、薬剤師を含むコメディカルによるチーム医療が行われています。薬剤師はチーム医療の中で薬の専門家としての役割を担っており、各分野で専門性を発揮するための資格として、がん治療、緩和、感染制御、栄養サポート、糖尿病治療など様々な専門薬剤師・認定薬剤師制度があります。

現在、私は日々の業務として抗がん剤調製業務を行っています。外来や入院のがん患者さんが安全・安心な治療を受けられるよう、投与量や治療スケジュールなどの確認を行い、患者さんへの服薬指導を行っています。がん薬物療法の発展により、新しい抗がん剤も増えてきており、学ぶ事がたくさんあります。大変なこともありますが、とてもやりがいを感じています。

今後は、がん薬物療法認定薬剤師、がん専門薬剤師の取得を目指し、日々の業務に励んでいこうと思っています。

【受験者へのメッセージ】

県職員の薬剤師になると、病院薬剤師としてだけでなく、行政や衛生研究所など様々な経験ができ、人との出会いも多くなります。多くの先輩や仲間とともに山形県のために働いてみませんか。

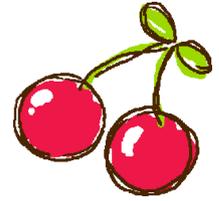
なお、山形県では専門資格の取得や更新に必要な学会や研修会への参加費用、申請時の諸費用等に補助があり、資格を持った先輩方も多くいるため、資格取得を目指すには大変よい環境です。

<編集部より>

県立病院における医療サービスの向上のため、各病院の特色に応じて認定薬剤師や専門薬剤師の資格取得を支援する制度があります。

〔支援する経費〕受験申込料、指定研修会受講料、受験料、認定料、更新研修会受講料、更新料、指定・更新研修会旅費、受験用旅費。

山形県職員薬剤師Q&A



Q 給与・勤務時間ってどうなっているの？

A 初任給は、211,300円*です（大学6年卒業。職歴等によって加算される場合があります。）。初任給のほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当等が支給されます。

勤務時間は、原則として、土・日を休日とする完全週休2日制の週38時間45分となっています。 ※平成30年度採用職員の場合

Q 休暇制度ってどうなっているの？

A 1年間（1月から12月）に20日（4月採用の場合、その年は15日）の年次有給休暇、原則連続6日間の夏期休暇、ボランティア休暇等があります。

また、満30、40、50歳の時に原則連続5日間のリフレッシュ休暇が取得できます（平成30年度現在）。

Q 仕事と家庭は両立できるの？

A 出産、育児、介護など、仕事と家庭を両立するための各種制度が整備されており、女性職員も男性職員も安心して働くことができます。 <両立支援制度（一部抜粋）>

産前産後休暇	産前8週（多胎妊娠の場合は14週）、産後8週以内
育児休業	3歳未満の子を養育する場合、子が3歳に達するまで
育児時間	3歳未満の子を育てる場合、1日90分以内
子ども看護休暇	①中学校就学前の子の看護等を行う場合、1年度5日（子が2人以上の場合10日）以内 ②小学校就学前の子に特定の健康診査や予防接種等を受けさせる場合、必要な期間
介護休暇	配偶者、父母、子、配偶者の父母、同居している祖父母などの介護をする場合、合計3回以内で6ヶ月を超えない範囲

Q 自分の希望する部署に配属されるの？

A 必ずしも希望どおりに配属されるわけではありませんが、年に1回希望する部署を申し出る機会があります。

インターンシップに参加してみませんか？

山形県では、学生の行政に対する理解を深めることを目的として、薬学生のインターンシップの受け入れを行っています。

対象者	薬学生、通勤可能な方（通勤手当、報酬等はありません。）
期間	1週間程度（希望に応じます。）
実習内容	行政薬剤師が従事している業務の体験
問合せ先	山形県健康福祉部健康福祉企画課 薬務・感染症対策室薬務担当 Tel023-630-2333

過去のインターンシップ参加者の感想

○平成29年度参加者（大学5年生）

大変貴重な体験をさせていただきありがとうございました。進路を考える上で大変有益な経験となりました。

実際に現場を見せていただいたり、業務に同行させていただいたりして、業務内容を具体的に知ることができました。どの職場でも県職員として責任をもって業務を行い、県民の生活を守っていることが分かりました。

職員の方に質問する時間を設けていただき、インターンシップに参加する前に抱いていた疑問や不安を解消することができました。

（一部抜粋）

○平成30年度参加者（博士後期課程1年生）

大変貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

このインターンシップに参加するまで、県職員薬剤師の業務をよく把握しておりませんでした。懇切丁寧な説明と、立入調査への同行、実際の検体を使った検査などを体験させていただき、業務内容について具体的に知ることができました。

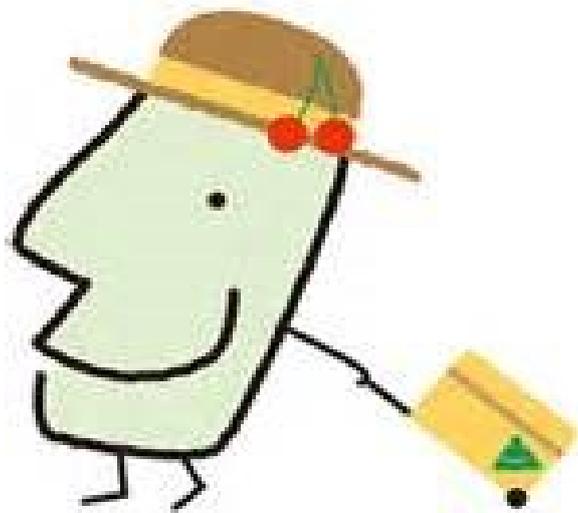
県職員の業務の中で想像以上に多くの方々と関わりがあることに驚きつつ、いずれの業務も県民の安全で健康な生活を確保するという点で一本心が通っており、無くてはならない仕事であると改めて感じさせられました。

職員の方や立入調査先の方にも質問する機会をいただき大変参考になりました。（一部抜粋）

薬学生インターンシップ実習プログラム(例)

月日	予定時間	実習場所	実習内容	予定施設等
1日目 (月)	9:00～10:00	山形県庁健康福祉部 健康福祉企画課 薬務・感染症対策室	業務概要説明 ・県の仕組みと業務内容及び行政薬剤師の配置状況について	
	10:00～10:40	山形県庁環境エネルギー一部 危機管理・くらし安心局 食品安全衛生課	業務概要説明	
	10:40～11:00	(移動時間)	山形市松波→山形市十日町へ	
	11:00～12:00	村山総合支庁 (村山保健所)	業務概要説明	
	12:30～17:00	保健福祉環境部 保健企画課医薬事室	医療法に基づく病院監視 又は 医薬品医療機器等法に基づく調査同行	
2日目 (火)	9:00～12:00	山形県庁健康福祉部 健康福祉企画課 薬務・感染症対策室	献血啓発に係る業務説明	献血ルーム 製薬工場等
	13:00～17:00		医薬品製造施設の見学及びGMP適合性調査に係る業務説明	
3日目 (水)	9:00～17:00	村山総合支庁 (村山保健所) 保健福祉環境部 生活衛生課	業務概要説明	
			食品衛生法に基づく施設立入業務同行等	
			営業衛生等施設立入業務同行等	
4日目 (木)	9:00～10:00	村山総合支庁 (村山保健所) 保健福祉環境部検査課	業務概要説明	
	10:00～10:30	衛生研究所 総務課	衛生研究所の業務概要説明	
	10:30～12:00	衛生研究所 生活企画部	生活企画部の業務について 食物・医薬品等検査の説明 蚊・花粉等調査研究の説明	
	13:00～15:00	衛生研究所 微生物部	微生物部の業務について 細菌検査・ウイルス検査について(各実験室見学)	
	15:00～17:00	衛生研究所 理化学部	理化学部の業務について 県内流通農産物等残留農薬検査の説明 植物性自然毒関係調査研究の説明 放射能関係業務の説明	
5日目 (金)	9:00～12:00	山形県庁健康福祉部 健康福祉企画課 薬務・感染症対策	業務概要説明 ・予算、議会、照会、委託等業務について ・試験業務について ・薬物乱用防止業務について	
	13:00～15:00		質問、アンケート等	

※ このプログラムは一例であり、実習時間、実習場所は、インターンシップ受け入れ時期により異なります。
また、実習日数は、実習生の都合や希望により調整できますので、申し込み前に相談願います。



<編集部より>

山形県職員の薬剤師として勤務する私たちは、病院、薬事、医事、食品衛生、生活衛生、検査研究など広い分野において活躍しています。このパンフレットは、各職場の一部を代表して、若い薬剤師からの声を取り入れて作成していますので、進路の参考にさせていただきたいと思います。私自身、食品衛生、検査研究、医事、薬事の分野を経験し、それぞれの職場で県民や多職種の職員の方に教えてもらうことで、自分自身も成長していることを実感しています。

県職員の薬剤師は、専門知識を生かし、幅広い分野で、県民の健康を守り県勢の発展に貢献することができます。ぜひ私達と一緒に働いてみませんか。

健康福祉部健康福祉企画課薬務・感染症対策室 本間 弘樹